

進路通信



平成 30 年度 第 3 号

平成 30 年 6 月 6 日 (水) 発行
栃木県立学悠館高等学校進路部
栃木県栃木市沼和田町 2 番 2 号

6 月の予定

アジサイの花が色づく時季になりました。梅雨入りが気になる今日この頃です。この季節は寒暖の差もあり、体調を崩す人も多く見られます。体調管理には十分気を付けましょう。また、19 日からは中間試験が始まりますので、万全の状態を受けられるようにしてください。特に卒業予定生徒は、この中間試験の成績が「仮評定」として今年度の進学や就職の調査書等に使用されることが多いと思います。しっかりと準備をしましょう。

進路部関係の行事

2 日 (土) 実力診断 (2 年次)	19 日 (火) ~ 前期中間試験 (~ 22 日まで)
実力判定・進研マーク模試 (卒年次)	30 日 (土) ベネッセ記述模試 (卒年次)
5 日 (火) 生徒面談日 (授業カット)	第 1 回基礎力診断テスト (1 年)
18 日 (月) 代休	

オープンキャンパスに行こう

オープンキャンパスとは、学校の施設を公開し、学校に関心のある学生やその家族に学校のことを知ってもらうための行事です。しかし、公開するのは施設だけではありません。その学校の入試制度や費用、卒業後の就職などに関するさまざまな情報も含まれています。先生方や職員の方、在校生などの関係者と直接話をする機会を設けている学校もあります。

参加することで、書類やパンフレットを読むだけではわからない生の情報を得ることができます。学生にとっては貴重な学校選びの材料となるのがオープンキャンパスです。来年 3 月に卒業を控えている生徒だけが対象ではありません。1 年生や 2 年生も参加して良いのです。興味ある学校があれば、積極的に参加しましょう。

学生食堂 (学食) を公開している学校も多数あります。参加した際には利用するのも良いですね。



AO 入試 エントリースタート

AO 入試では、面接や書類選考を行い、学力だけでなく受験者の個性・熱意も評価してくれます。あなたのやる気や意気込みをアピールする入試といってもよいかもしれません。

AO 入試のながれ (一例)

- ① オープンキャンパスに参加
- ② エントリーシートの提出 (エントリーは 6 月から受付開始の学校が多いです)
- ③ 入学選考 (面接・課題など)
- ④ 入学願書を提出 (入学願書は 8 月から受付開始の学校が多いです)

AO 入試のメリット

- 入学前に **事前授業 (プレスクール)** を実施する学校があり、一般入試で入学する学生よりも専門知識を早く習得できます。
- **受験料免除や授業料減額などの特典** を設けている学校が多い。AO 入試で受験することで特待生にチャレンジできる学校もあるようです。

※入試の流れ・方法・時期・メリットについては **学校により異なるので、必ず事前にチェック** しておこう!



有効求人倍率 栃木県 1.42 倍

5月29日 栃木労働局が発表した県内有効求人倍率は1.42倍でした。この数字は、高いのか？ 低いのか？
そもそも「有効求人倍率」とは？ まず、「有効求人倍率」とは、求職者1人当たりの求人数を示しています。求職者とは、就職したいと思っている人。求人数とは、企業が募集している人数になります。と言うことは、高ければ高いほど良いことになります。

全国の有効求人倍率は1.59倍で、栃木県は34位です。全国的に見ると高い水準ではありませんが、長引く人手不足のため、求人倍率は高まっています。昨年の同時期に有効求人倍率が1.34倍で43年ぶりの高水準として話題になっていましたが、今年はさらに更新しています。

就職を希望している卒年次の皆さん、このチャンスを最大限生かしてください。
そして、来年の4月から正社員として、バリバリ働きましょう！



寺子屋みらい 植樹体験

7月27日（金）、今年も「甦れ！足尾の緑」と題して、足尾植樹体験と足尾歴史館の見学を行います。

足尾は、明治期に銅の生産量日本一を誇りましたが、その廃ガス・廃液の影響で、足尾の周囲の山々は葉が落ち、木々が枯れ、はげ山になったのです。その後、国主導により1900年頃から現在まで国による植林活動が進められ、現在では半分近くまで回復してきたそうです。

学悠館高校の植樹体験も今年で6回目になります。わずか1人1～2本の苗木ですが、未来の森の一部を作るお手伝いをしてきました。この活動が人と自然の関わりについて考えるきっかけとなれば良いと思っています。苗木代と歴史館の入館料と併せて ¥1,000 は個人負担となります。この夏、ボランティアを兼ねた植樹体験に参加してみませんか？



2017年度 植樹体験の様子



連載① ～ 変わる大学入試 ～

「大学入試センター試験」（以降「センター試験」）に代わるテストとして検討中の「大学入学共通テスト」（以降「共通テスト」）について、進路通信でも取り上げていきたいと思います。なお、「共通テスト」の詳細はまだ議論・検討中です。公表されている内容であっても、今後、変更される可能性もあるそうです。

2021年1月から実施 （該当生徒1年次・2年次4修生徒）



センター試験は2019年度（2020年1月）の実施を最後に廃止されます。代わって2020年度からスタートするのが「大学入学共通テスト」です。これまでのセンター試験と同様、1月中旬の2日間で実施されます。現在の高校1年次生（2018年4月入学）から、この「共通テスト」（2021年1月実施）を受検することになります。勿論、2年次生の4修希望者も該当します。

大きな変更として、従来のセンター試験では出題されなかった記述式問題の導入と、英語では4技能（読む・聞く・話す・書く）を評価することが挙げられています。その英語については実施形態を含めて大きく変わります。民間の資格・検定試験を活用して4技能（読む・聞く・話す・書く）を評価するものになります。（2018年3月末に参加要件確認結果が公表されました。2020年度からは、共通テストに加え、7団体24の資格・検定試験の民間試験が加わり、大学が選択利用します。）